



2026 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 ネットレン

高周波熱錬株式会社

代表者名 代表取締役社長執行役員 大 宮 克 己
(コード番号 5976 東証プライム市場)

問合せ先 上席執行役員経営企画室長 久 田 直 志
(TEL. 03-3443-5441)

設備投資に関するお知らせ

当社は、8月6日開催の取締役会において、以下のとおり設備投資を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 設備投資の目的

当社グループは、IH（Induction Heating＝誘導加熱）技術を基に、あらゆる業界に対し金属製品および高周波誘導加熱装置の製造・販売、熱処理受託加工等を展開しております。

2026年度は、長期経営ビジョン「NETUREN VISION 2030（進化と躍進）」の第2フェーズである第16次中期経営計画の最終年度として、「成長ドライバーの創生」「成長エンジンの育成」「グローバルマーケットの拡大」「自発的貢献意欲のある人財の育成」に取り組んでおります。

近年、建設業界においては建設費の高騰が大きな課題となっており、ゼネコンやデベロッパー各社より構成部材に対するコスト削減への強いニーズが寄せられております。

これに対し、当社製品「ダブルスターク®」※は、1本の鉄筋内に普通強度部と高強度部を任意の位置で形成する独自技術により、必要な箇所のみ高強度部を配置することを可能にしました。本製品の採用により、鉄筋量の削減、梁幅の縮小、施工工数の減少および工期短縮などのコストの削減に大きく寄与するとともに、優れた耐震性能を両立できる点が高く評価され、現在、物流倉庫やデータセンターを中心に引き合いが急増しております。

この度、このようなニーズに対応するため、同製品の製造を担ういわき工場（福島県いわき市）に新たな製造設備（切断・表示設備）の導入を決定いたしました。本設備の稼働により、同工場における当該製品の生産能力は約2倍に向上する見込みであり、今後も拡大が見込まれる需要に対応できる生産体制を構築してまいります。

※ ダブルスターク® は、JIS G 3112 に基づき製造された鉄筋を高周波熱処理により鉄筋の一部を高強度にした鉄筋コンクリート用異形棒鋼。2018年“超”モノづくり部品大賞（主催：モノづくり日本会議／日刊工業新聞社）を受賞。

2. 設備投資の内容

(1) 所 在 地	福島県いわき市好間工業団地24番地の1 (当社製品事業部製造部いわき工場)
(2) 投 資 内 容	製品切断・表示設備（ダブルスターク®用）
(3) 投 資 予 定 額	約150百万円
(4) 資 金 調 達	自己資金
(5) 稼 働 時 期	2027年7月（予定）

3. 今後の見通し

当社の2027年3月期連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以上